

令和4年11月

各位

八戸市東京事務所長

## 八戸レポートの送付について

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

「八戸レポート令和4年11月号」をお送りいたしますので、ご高覧くださいますようお願いいたします。

八戸市と周辺7町村で連携し運営している八戸都市圏交流プラザ「8base(エイトベース)」が来店者50万人を達成しました。

8baseは2020年9月10日にオープンし、初年度は約半年で19万人超が来店していましたが、その後は、新型コロナウイルス禍による時短要請や酒類の提供制限といった苦境に直面しました。2021年度は15万人台に落ち込んだものの、行動制限が緩和されるとともに客足が回復し、本年度は4～9月で約13万6千人が訪れています。

節目を飾った都内在住のご夫婦には、お祝いに駆け付けた八戸市のマスコットキャラクター「いかずきんズ」のこうみちゃんから、せんべい汁やりんごジュースなど八戸圏域特産品の詰め合わせセットが贈呈されました。

### ◎皆様へのお願い

職業、役職、住所などに変更がある場合は、八戸市東京事務所までお知らせくださいますようお願い申し上げます。

### 八戸市東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-2 全国都市会館5階

電話 (03) 3261-8973 / FAX (03) 3239-6723

E-mail: [tokyo@city.hachinohe.aomori.jp](mailto:tokyo@city.hachinohe.aomori.jp)

# 入戸11月号 レポート

令和4年10月の八戸市内での出来事や  
八戸市に関連する情報をお届けします。

## 【行政】

記事	概要
(1)	八戸市プレミアム商品券販売 市民が列
(2)	おんでやあんせ八戸観光おもてなしキャンペーン実施中
(3)	八戸市美術館 グッドデザイン賞 県内唯一、ベスト100にも選出
(4)	全国都市問題会議 八戸で来年10月開催
(5)	上北道 11月27日全線開通 八戸-青森間1時間32分に

## 【産業】

記事	概要
(6)	ヴァンラーレxはちのヘワイナリー コラボワイン第2弾開発
(7)	東北新幹線八戸開業20周年記念「はやて」特別運行 王林さん一日駅長も
(8)	八戸駅西に複合商業施設 24年5月開業予定 東北最大級トランポリンパークが核
(9)	JR八戸駅新幹線ホーム 発車ベルに「八戸小唄」を
(10)	呉服店「きもの処 崑好」(八戸) 異業種参入「ハチノハバター」発売
(11)	八戸ワイン初輸出 八戸ワイナリー カンボジアで常設販売へ

## 【地域】

記事	概要
(12)	八戸の宿泊施設 高稼働 旅行支援効果、工事需要も
(13)	ジビエ文化発信 八戸・マチニワでイベント開催
(14)	八戸水産高水産食品科生が開発 ムラサキイカ新缶詰完成
(15)	はちのへホコテン本年度最終日 仮装姿も
(16)	おいしいそば今年も 八戸南郷で収穫盛ん

## 【文化・スポーツ】

記事	概要
(17)	プロ羽生弓弦 12月2、3日 フラット八戸で 単独アイスショー
(18)	3年ぶり、八戸リレーマラソン たすき笑顔でつなぎ
(19)	YSアリーナ八戸無料開放 400人来場プロ指導ホッケー教室も
(20)	八戸城跡 石2個発見 大手御門の礎盤か

## 【行政】

記事	概要
(1)	<p><b>八戸市プレミアム商品券販売 市民が列</b></p> <p>原油高や物価高騰対策として、八戸市などの実行委員会が発行するプレミアム商品券の販売が10月14日から始まった。販売は12月13日まで、利用は来年2月13日までで、取り扱う市内のスーパーなどでは、初日から買い求める多くの市民が列を作った。プレミアム率は50%で、1セット1万5千円分（千円券15枚）を1万円で販売。参加全店を対象とした「全店共通券」9枚と、市内に本店のある事業者又は参加登録している全てのガソリンスタンドで利用可能な「地元応援券」6枚で構成されている。購入は市民1人につき1セットまでで、約22万2千セットを発行。商品券の発行によって市内に流通する金額は、最大33億3千万円を見込んでおり、大規模な消費喚起を通じて市内事業者を支援するとともに、各家庭の家計の負担軽減を図る。</p>
(2)	<p><b>おんでやあんせ八戸観光おもてなしキャンペーン実施中</b></p> <p>八戸市では、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている観光関連事業者を支援する「八戸市観光おもてなしクーポン事業」について、「おんでやあんせ八戸観光おもてなしキャンペーン」を実施している。クーポン発行額は総額6千万円。市内の旅館・ホテルなどの宿泊施設の利用者1人につき、市内の飲食店や土産品店で使える2千円分のクーポンを配布する。キャンペーンに参加する市内の宿泊施設は26施設、飲食店は226店舗、土産品店は15店舗。配布期間は来年1月22日までだがなくなり次第終了。利用期間は来年1月29日まで。国の全国旅行支援や県の宿泊割引「おでかけキャンペーン」と併用できるため相乗効果による消費や宿泊需要の喚起を狙う。</p>
(3)	<p><b>八戸市美術館 グッドデザイン賞 県内唯一、ベスト100にも選出</b></p> <p>日本デザイン振興会（東京）が10月7日発表した2022年度グッドデザイン賞に、昨年11月にオープンした八戸市美術館が選ばれた。青森県内からの受賞は唯一で、今後のモデルとなるデザインに位置づける「グッドデザイン・ベスト100」にも選出された。美術館のデザイン性に加え、市民の文化活動の拠点となっている点などが高く評価された。グッドデザイン賞は、世界有数の規模を誇るデザイン賞で、家電などの製品や建築物に加え、各種サービスやビジネスモデルなど有形、無形を問わず贈られる。</p>
(4)	<p><b>全国都市問題会議 八戸で来年10月開催</b></p> <p>全国の市長や議員、自治体職員、研究者らが一堂に会し、地方自治やまちづくりなどについて討議する85回目の「全国都市問題会議」が来年10月、八戸市で初めて開催されることになった。参加者は約1800人を想定しており、宿泊や物産、飲食需要を中心に大きな経済効果が見込まれる。令和2年度には、同市において第82回会議が開催される予定だったが新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、やむなく中止となった。来年は10月12、13日の2日間の日程で開催。八戸市公会堂と市公民館を会場に、基調講演やパネルディスカッションなどを行う。</p>
(5)	<p><b>上北道 11月27日全線開通 八戸-青森間1時間32分に</b></p> <p>青森河川国道事務所は10月27日、上北自動車道（六戸町-七戸町、約24キロ）の最終区間となる天間林道路（七戸町、8.3キロ）について、11月27日に開通させると発表した。上北自動車道は3区間のうち上北道路、上北天間林道路が既に開通済みで、これにより、都市計画決定から約17年を経て上北自動車道が全線開通する。八戸、青森間の移動時間は31分短縮され、1時間32分となる。交通アクセスの向上により、物流効率の向上による特産品の販路拡大や木材加工など地域産業の活性化、救急搬送の速達性・安定性など医療面での効果も見込まれる。</p>

## 【産業】

記事	概要
(6)	<p><b>ヴァンラーレxはちのヘ Weiner コラボワイン第2弾開発</b></p> <p>サッカーJ3のヴァンラーレ八戸は、八戸市の「はちのヘ Weiner」とコラボした白ワイン「キュヴェ ヴァンラーレ」を開発した。八戸産のブドウ「ナイアガラ」を100%使用したフルーティーな香りと適度な酸味の特徴の甘口のワイン。両者が昨年12月に発表した第1弾のコラボワインが好評だったことから第2弾を企画。ラベルはチームカラーの緑色で、マスコットキャラクター「ヴァン太」がデザインされている。生産本数は360本。価格は750mlで2200円（税込み）。市内一部のファミリーマート、はちのヘ Weinerのグループ店「VIN+（ヴァンタス）」のオンラインショップでも取り扱う。</p>
(7)	<p><b>東北新幹線八戸開業20周年記念「はやて」特別運行 王林さん一日駅長も</b></p> <p>東北新幹線八戸開業20周年を記念し、JR東日本盛岡支社は12月3日、開業当時に「はやて」の名で親しまれたE2系車両を特別運行する。東京発八戸着の団体専用臨時列車で、車内では乗務員のトークショーや観光PR、記念乗車証やグッズの配布、八戸駅新幹線ホームでの車体撮影会なども行われる。団体専用の旅行商品として、順次発売される。また、3、4日には八戸駅東西自由通路の特設ステージを設け、一日駅長を務める王林さんも出演予定。八戸駅西口と「フラット八戸」間では、八戸三社大祭の山車とはちのへえんぶりが共演する「はちのへ郷土芸能パレード」を開催し、駅周辺が一带となって祝う。</p>
(8)	<p><b>八戸駅西に複合商業施設 24年5月開業予定 東北最大級トランポリンパークが核</b></p> <p>発電設備のメンテナンスなどを行う北辰工業（八戸市）は10月17日、八戸駅西地区にトランポリンパークを核とした複合商業施設「エルロン・ウェスト・ビレッジ」を建設する計画を発表した。駅西地区にある商業エリアへの民間事業者の出店は初めて。敷地面積は3431平方メートルで、トランポリンパークのほか、飲食や物販ができるテナント棟3棟ほどを建設し、施設前には花見やビアガーデンなどのイベントが計画できる広場も設ける。トランポリンパークは老若男女が通年で屋内スポーツが楽しめる施設で、東北最大級となる見込み。年間利用者数3万人ほどを見込む。着工は2023年7月を予定し、24年5月のオープンを目指す。</p>
(9)	<p><b>JR八戸駅新幹線ホーム 発車ベルに「八戸小唄」を</b></p> <p>八戸市と八戸圏域版DMO（観光地域づくり推進法人）VISIT八戸はちのへは10月20日、JR東日本盛岡支社に対し、12月1日の東北新幹線八戸開業20周年を契機に、JR八戸駅の新幹線ホームの発車ベルに「八戸小唄」のメロディーを採用するよう要望した。八戸小唄は90年以上歌い継がれた楽曲で、地域の名所や情景が歌われ、市民の盆踊りや八戸三社大祭の華屋台では踊りも披露されるなど市民の愛着がある。八戸を象徴する調べを流すことによって郷土への愛着を育み、県内外の利用客にも地域の魅力を印象付けて誘客につなげるのがねらい。今後、JR側が採用の可否を判断する。</p>
(10)	<p><b>呉服店「きもの処 焔好」（八戸）異業種参入「ハチノバター」発売</b></p> <p>八戸市の呉服店「きもの処 焔好」（よみ：きこう）は10月24日、イカ墨やサバなどの味わいが楽しめる「√（ルート）64ハチノバター」の販売を始めた。焔好の類家通代表は全国各地の物産展に出店してきた中、いつか食品も手掛けてみたいと考え、東京の仏料理レストラン「ブラスリーエール」でオーナーシェフを務める長男の弘匡氏に相談。八戸を代表する食材とバターを組み合わせることを思い付き、商品化を進めてきた。販売するのはイカ墨、サバ、ブイヤベースの3品で各食材を仏料理の伝統技術でバターに仕上げた。パンやクラッカーのほか、さまざまな料理と相性が良いという。価格はイカ墨とサバが1個100グラム入り1706円、ブイヤベースが1814円（税込み）。インターネットでも購入可能となっている。</p>

(11)	<p><b>八戸ワイン初輸出 八戸ワイナリー カンボジアで常設販売へ</b></p> <p>八戸ワイナリーは、醸造した「八戸ワイン」を含む3品計132本をカンボジアに向け初輸出した。輸出第1便のうち、八戸ワインに当たるのは「スパークリング アルファロゼ」36本と主力の「青森ナイアガラ2020(甘口)」60本、「スパークリング 青森スチューベン」36本。初出荷分はカンボジアのイオン・ブノンペン店常設コーナーで販売される。今後はマレーシア、ベトナムのイオンにも出荷予定。3か国で来年3月までに計660本の出荷を目指す。現地価格は未定だが、比較的裕福な階層をターゲットに想定している。経済成長が著しい東南アジアで販売開拓に挑むとともに、海外での評価を高め地元消費者への浸透を狙う。</p>
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【地域】

記事	概要
(12)	<p><b>八戸の宿泊施設 高稼働 旅行支援効果、工事需要も</b></p> <p>秋の紅葉シーズンに入り、八戸市内の宿泊施設は高稼働が続いている。11日に始まった観光振興事業「全国旅行支援」の効果に加え、工事関係者の利用で一部ホテルは年末まで予約が好調。今後も12月の東北新幹線八戸開業20周年、八戸が主会場の特別国体冬季スケート・アイスホッケー競技会の一大行事を控え、新型コロナウイルス禍に苦しむホテル業界は需要回復を図る。市旅館ホテル協同組合の関係者は、「コロナ禍の約2年半はつらかったが、良い状態に戻ってきた。全国旅行支援はできるだけ長く実施してほしい」と切望する。</p>
(13)	<p><b>ジビエ文化発信 八戸・マチニワでイベント開催</b></p> <p>地域の食文化を発信するイベント「ナンブアペロ」が10月22、23の2日間、八戸市三日町のマチニワを主会場に開催された。市内のレストラン3店を中心とした実行委員会が、イベントを通して自然との共生や地域の伝統的な食文化に理解を深めてもらおうと初めて企画。ジビエ料理をテーマに、階上町に伝わる「南部羊」や狩猟で得たシカを使用したグリルなどの料理、南部羊の生産者らによるトークセッションのほか、地元の野菜や果物の販売やジャズバンドのライブなども行われた。今後もさまざまな食材をテーマにイベントを継続する意向だ。</p>
(14)	<p><b>八戸水産高水産食品科生が開発 ムラサキイカ新缶詰完成</b></p> <p>青森県立八戸水産高水産食品科の生徒が、八戸港に水揚げされた船凍ムラサキイカを原料に缶詰を開発した。八戸いか釣漁業協議会の協力を得て、学科一丸で開発に取り組んだ。ムラサキイカの特徴である柔らかさを楽しめるほか、しょうゆ味にショウガの風味が程よいアクセントとなっている。既に同校の「水産デー」や第32回全国産業教育フェア青森大会で販売しており、いずれも好評だった。10月31日から八戸市湊町の「浜市場みなとと」で1個200円(税込み)で数量限定販売する予定。</p>
(15)	<p><b>はちのへホコテン本年度最終日 仮装姿も</b></p> <p>本年度最終回の「はちのへホコテン」が10月30日、同市十三日町から三日町にかけての通りとヤグラ横町で開かれた。中心街関係者らで組織する実行委員会の主催。飲食や物販のブースが軒を連ねたほか、音楽ライブやジャグリングなど多彩なイベントが催され、大勢の市民でにぎわった。ハロウィーンが近いこともあり、仮装して楽しむ姿もあった。本年度のホコテンは6～10月に計5回開催された。</p>
(16)	<p><b>おいしいそば今年も 八戸南郷で収穫盛ん</b></p> <p>ソバの生産が盛んな八戸市南郷で、収穫が最盛期を迎えている。市南郷そば振興センターによると、ソバは水に弱く、雨が続きと種の流出や育成不良などの恐れがある。南郷では、6月に始まった種まき作業が夏場の長雨で進まず、8月上旬までずれ込んだという。ただ、刈り入れが進むと、6月播種分は不作だったが、ほかは一定の収量があり、実も大きめに育っていた。生産団体「中野そば倶楽部」の古館寛代表は「このまま順調に進み、等級も1等になれば」と期待する。</p>

【文化・スポーツ】

記事	概要
(17)	<p><b>プロ羽生弓弦 12月2、3日 フラット八戸で 単独アイスショー</b></p> <p>フィギュアスケート男子で冬季五輪を2連覇し、7月にプロ転向を表明した羽生弓弦さんは、自らが総合演出して単独で出演するアイスショーを12月2、3日にフラット八戸で開催すると発表した。公演のタイトルは「プロログ」（序章）で、コンセプトやロゴのデザイン、ステージ構成も手がける。羽生さんは、冬季五輪を2連覇し、今年7月に競技会からの引退を表明。五輪では転倒に終わった大技、クワッドアクセル（4回転半ジャンプ）の初成功をプロスケーターとしての目標に掲げた。</p>
(18)	<p><b>3年ぶり、八戸リレーマラソン たすき笑顔でつなぎ</b></p> <p>「第7回八戸リレーマラソンin東運動公」（デーリー東北新聞社、エスプロモ主催）が10月2日、八戸市東運動公園で開かれた。新型コロナウイルスの影響で3年ぶりの開催となった今大会は、開催時期を例年より1か月前倒し。42.195キロのフル3部門にオープン参加を含む17チーム、ハーフ5部門に29チームがエントリーした。この日は朝から晴れ渡り、八戸の最高気温は22.8度と9月下旬並み。子どもから大人まで市内外の参加者が、心地良い秋風を受けながら、学校や職場の仲間らとたすきをつなぎ、絆を深めた。</p>
(19)	<p><b>YSアリーナ八戸無料開放 400人来場プロ指導ホッケー教室も</b></p> <p>八戸市立屋内スケート場「YSアリーナ」では10月8、9日の2日間、本格的なスケートシーズンを前にリンクが無料開放された。初日はアジアリーグアイスホッケーの東北フリーブレイズの選手によるスポーツ教室が開かれ、プラスチックのスティックやボールで練習したほか、試合形式のゲームで熱線を繰り広げた。9日には滑走のほか、バスケットボール男子B2東地区の青森ワッツ、サッカーJ3のヴァンラーレ八戸の各選手が指導するスポーツ教室などが開かれ、会場は多くの笑顔に包まれた。</p>
(20)	<p><b>八戸城跡 石2個発見 大手御門の礎盤か</b></p> <p>市教委は10月26日、江戸時代に八戸藩の居城だった八戸市内丸の八戸城跡で、城の正門「大手御門」の門柱を支えていた礎盤とみられる石2個が見つかったと発表した。市の本八戸駅通り地区整備事業の道路改良工事に伴い、市埋蔵文化センター是川縄文館が実施した発掘調査で発見された。八戸城は1629年ごろ、盛岡藩主の南部利直が代官所として築城。64年の八戸藩成立後は藩主の居城として定められたが明治に入り廃城となった。廃城後、大手御門の遺構が発見されたのは初めて。八戸城については絵図面でおおよその構成が分かっていたが、門の位置がほぼ特定できたことで、城全体の位置関係を検討する上で重要な前進になるという。</p>

はちのへ

## ふるさと寄附金のご案内

### 『ふるさと寄附金』で八戸を元気に!

八戸市では、「八戸を応援したい!」「八戸が大好き!」という方々からいただく寄附を『ふるさと寄附金』と名付け、八戸の魅力を高めるためのさまざまな事業に活用させていただきます。ぜひ、『ふるさと寄附金』という形で八戸市を応援してください!



### ふるさと寄附金の3つの魅力

#### ① 寄附金の使い道を指定できる

震災復興、子育て支援、まちづくりなど複数の分野から、寄附金の使い道を選ぶことができます。

#### ② 税金が控除(還付)される

控除上限額内で寄附を行うと、合計寄附額から2,000円を超える部分について、所得税の還付や住民税の控除を受けることができます。(控除上限額は収入や家族構成によって異なります。詳しくはお住まいの市区町村の個人住民税担当部署にお問い合わせください。)

#### ③ お礼の品がもらえる

八戸市では、10,000円以上の寄附をされた八戸市外にお住まいの個人の方に、地域の名産品を「お礼の品」としてお届けしています。

#### 申込み方法

##### 郵送・FAX・メール

- 「ふるさと寄附金申込書」に必要事項をご記入の上、ご提出ください。
- 申込書は市ホームページからもダウンロードできます。
- 申込書の郵送をご希望の方はご連絡ください。

市ホームページ



##### インターネット

- 下記2つのふるさと納税ポータルサイトから商品をお選びいただけます。
- 各ポータルサイトの決済方法に従って、寄附金のお支払いをお願いします。
- クレジットカード決済をご希望の場合はこちらからお申込みください。

ふるさとチョイス

楽天ふるさと納税



#### 送付先

八戸市 広報統計課  
ふるさと寄附金担当

〒031-8686

青森県八戸市内丸1-1-1

TEL:0178-43-2319

FAX:0178-47-1485

Email:furusatotax

@city.hachinohe.aomori.jp

※担当部署が住民税課から広報統計課に変わりました。

## 八戸市東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-2 全国都市会館5階

TEL:03-3261-8973 FAX:03-3239-6723

Email:tokyo@city.hachinohe.aomori.jp

[所長] 松橋 大輔 [主事] 前田 哲 [事務員] 浜井 章代

八戸市東京事務所では、企業誘致や八戸市関連情報の発信等を行っております。関連情報がございましたら、ご提供くださるようお願いいたします。また、事務所の近くにお越しの際は、どうぞお気軽にお立ち寄りください。